



ありそでなかつたべビーギヤング  
ニーゴーなんかブッチ切れ!

# YAMAHA YZF-R15M

チューンドbyRC甲子園

コンプリート価格：43万3750円  
問：YSP大阪箕面 TEL072-726-5310  
www.ysposakaminoo.com

撮影/石村英治(フォトスペースRS) 文/中村浩史

すっかりとした車体に  
パワーをプラス

ニンジャ、CBRの新世代250スポーツ快進撃を苦々しく思うヤマハファンたち。残念ながらヤマハ250スポーツはまだ未定みたいだけれど、目下YSP店取り扱いモデルであるYZF-R15が注目を集めている。

どうしてこのまま250ccのエンジンを載せて発売しないのか不思議なくらいに車体がしっかりしていて、スタイリングもレーシー！ニンジャ、CBRと並べたって、まるでヒケを取らない仕上がりがた。

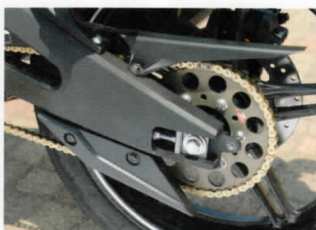
ただし、やはり250と比べると100ccのハンデがあるのは事実。そこはモディファイで補おう、とRC甲子園が手掛けたの



が、このYZF-R15M。Mはもちろん、モディファイのMだ。排気量はそのままに、専用開発されたマフラー装着だけで、ピークパワーが2PSアップ。加えて、そこへつながる回転の伸びが段違いにイイ！

ノーマルの、アクセル開け始め回転域のモワツとしたパワーラゲが消えているし、やっぱりマフラー交換車両はパワーのパンチが効いている！爆発が強い感じで、このサイズによく見合ったベストバランスなパワーを手に入れていると言っていだろう。

ストリートで使う回転域でもトルクがあつて、なおかつ高回転も回る15M。軽量な車体をグイグイ引つ張る力があつて、これは速いね！ストリートならニンジャに



さらにR15の楽しさを広めようと、ワンメイクレースや150ccオープンクラス用にレース対応版も開発。ST150にそのまま参戦OK。コンプリート価格51万4500円は大バーゲン価格だ！

ステップ下部に膨張室を設けたフルエキゾースト。パワーフィーリング激変で、高回転の伸びとパワーアップを両立。単品販売は6万9300円。

駆動系で大きく変わるミニスポーツ。オプションでisa製スプロケットとDIDチェーンを用意。コレがかなり効いている。

もCBRもタツシユで互角に戦えそうなパワーだ。

250はラインアップがないからねえ、って泣いているヤマハファンは、R15Mに注目すべし！YZF-Rシリーズそのままのカッコよさで、これは大アリ！